

仕 様 書

[illegible]

特 記 仕 様 書

第1章 総則 第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、林道災害復旧工事（久和喜竜王線）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
・土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
・その他関連規格類

第2節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
- 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
 - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第2章	施工条件
第1節	安全対策
	1 工事中の安全確保
	建設機械施工安全技術指針は、国土交通省大臣官房技術調査課（令和3年3月）を参考とすること。
第2節	建設副産物
	1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））
	当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。
	また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
	搬出場所 株式会社アヴァンセ沼田東町納所リサイクルプラント
	なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。
第3節	その他
	1 工事用機資材の仮置き
	場所 受注者が責任をもって確保すること。
	なお、借地料が発生した場合においては、受注者が負担すること。
	2 法定外の労災保険 の付保
	1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
	2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
	3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。
	3 週休2日工事
	本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市 週休2日工事等実施要領」に基づき実施するものとする。
第3章	その他
第1節	本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

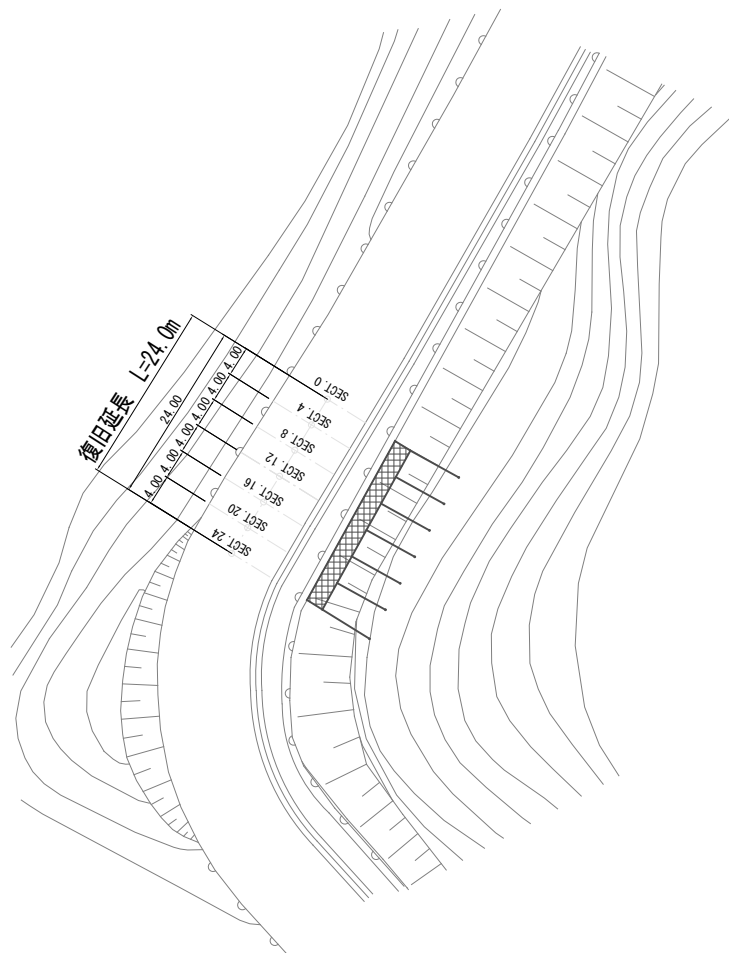
	費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	備 考
本工事費						
林道開設・改良			式		1	レベル 1
刈払工			式		1	レベル 2
伐採工			式		1	レベル 3
伐採工		【刈払】	m2		1	レベル 4
道路土工			式		1	レベル 2
掘削工			式		1	レベル 3
土砂掘削		【岩塊・玉石混り土】	m3		40	レベル 4
法面工			式		1	レベル 2
既設落石防止網撤去工			式		1	レベル 3
落石防止網撤去工		【金網・ロープ・支柱】	m2		56	レベル 4
落石防止網復旧工			式		1	レベル 3
落石防止網設置工		【鋼材規格,設計荷重,削孔数】	m2		56	レベル 4
復旧材料費		【ロープ (Φ14・Φ12)	式		1	レベル 4
機械経費			式		1	レベル 3
機械損料		【燃料・ロット・ビット・エアーホース消耗	式		1	レベル 4
直接工事費						
共通仮設費率分額						

工事数量総括表

頁0 -0002

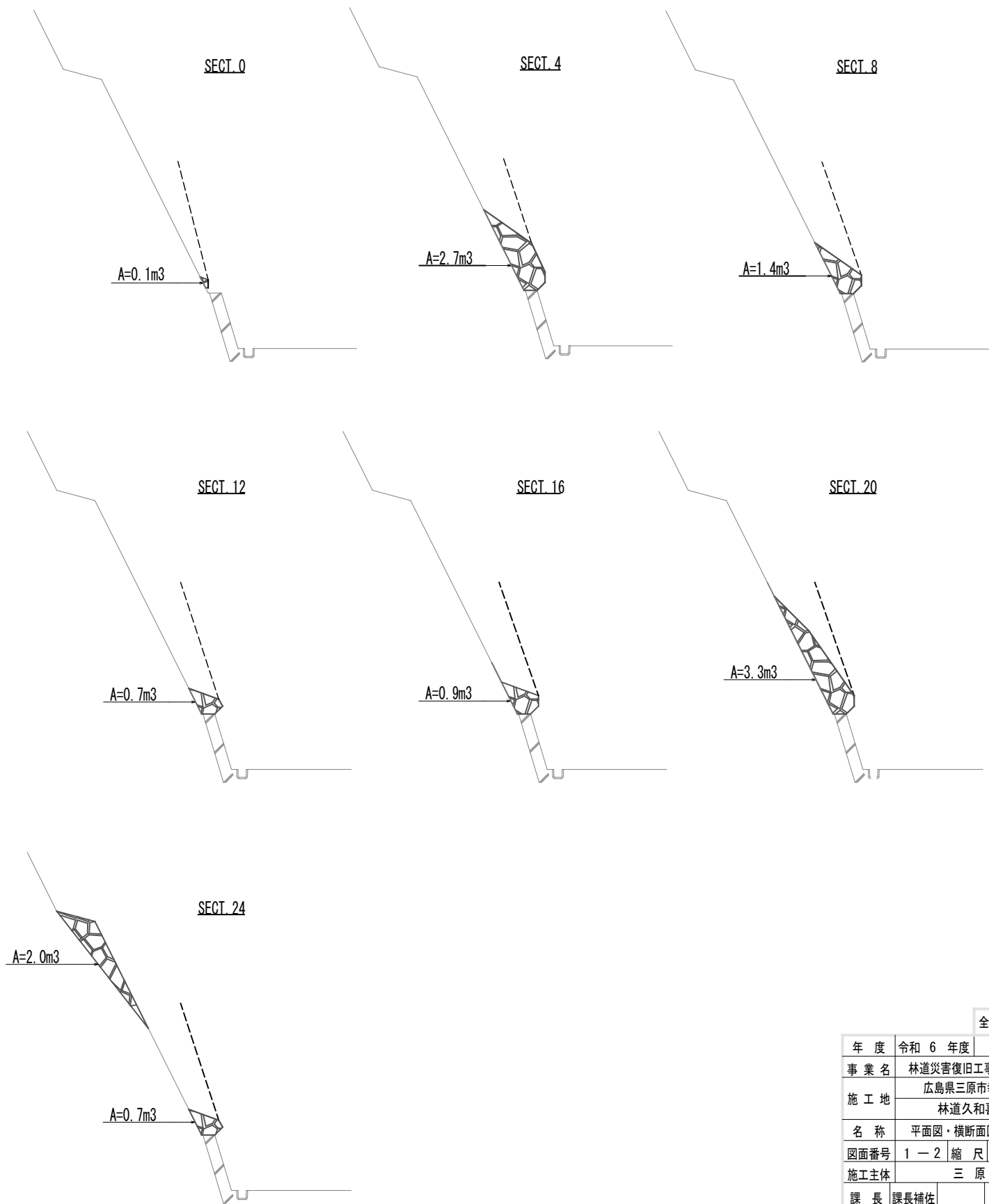
[illegible]

平面図 S=1/500

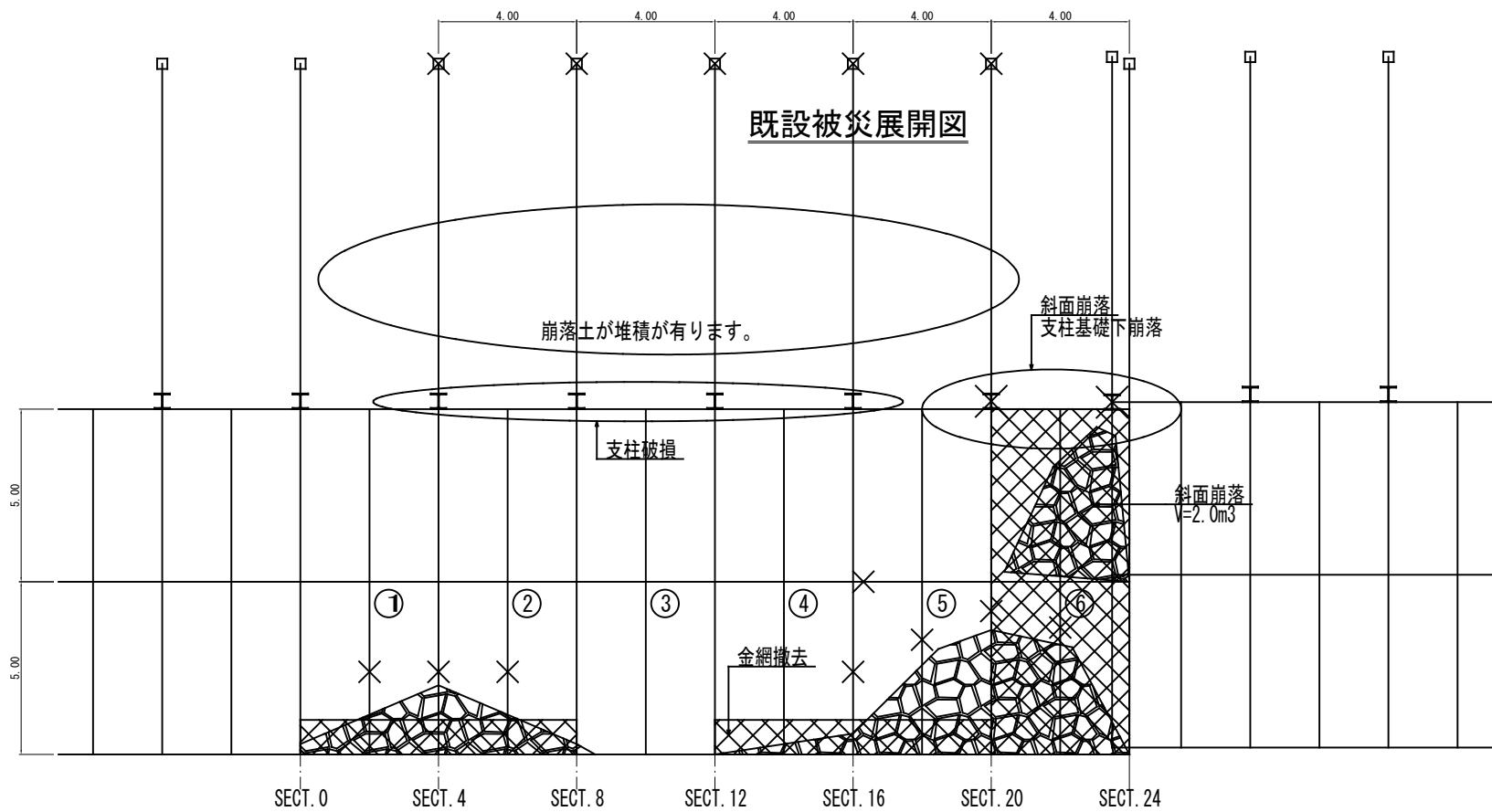


標準断面図

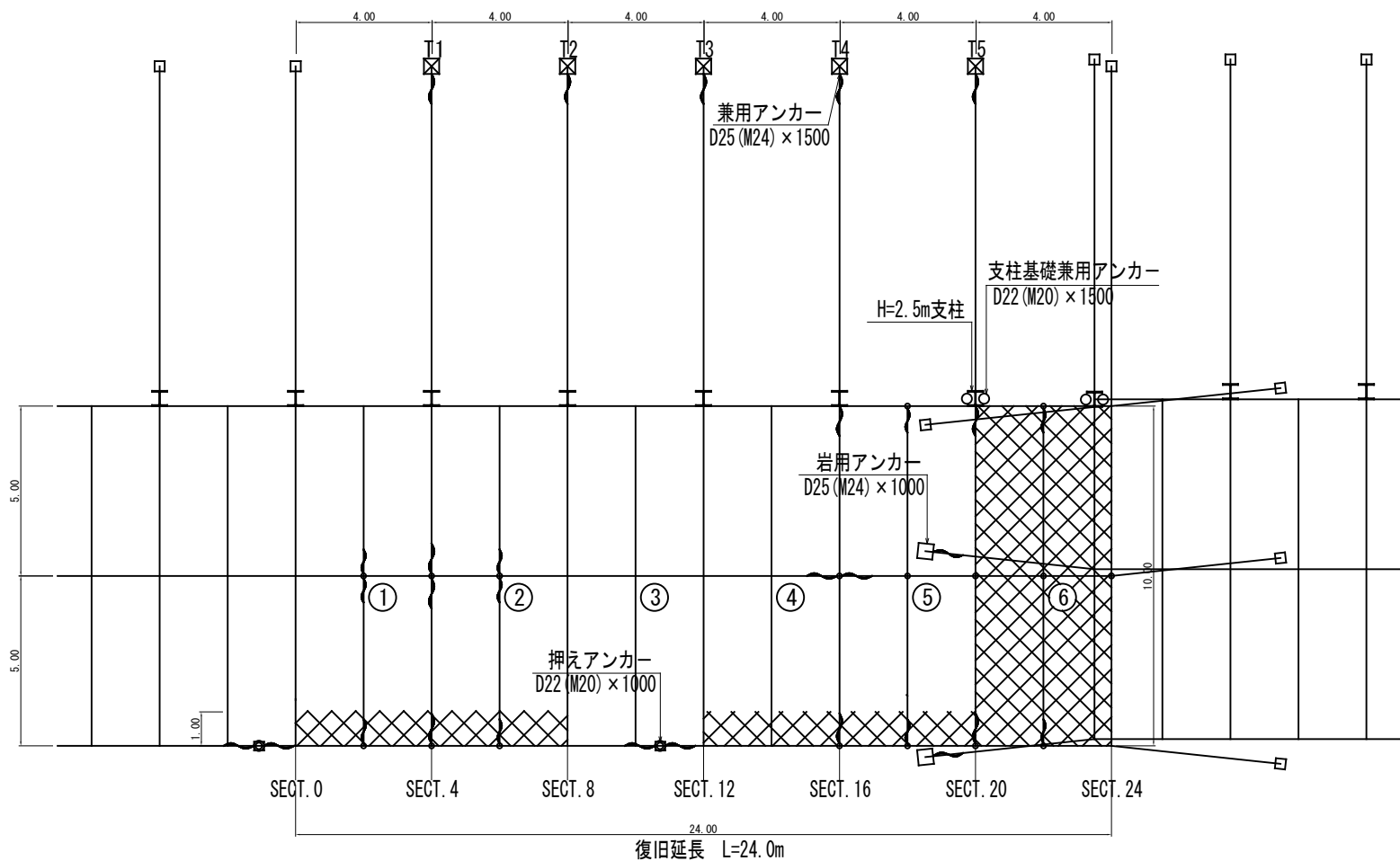
S=1:100



		全葉中番		
年度	令和 6 年度			
事業名	林道災害復旧工事(久和喜竜王線)			
施工地	広島県三原市幸崎町久和喜			
	林道久和喜竜王線			
名称	平面図・横断面図			
図面番号	1	— 2	縮 尺	図示
施工主体	三 原 市			
課 長	課長補佐		係 長	設計者
受託会社				
主任技術者	設計	製図	測量	



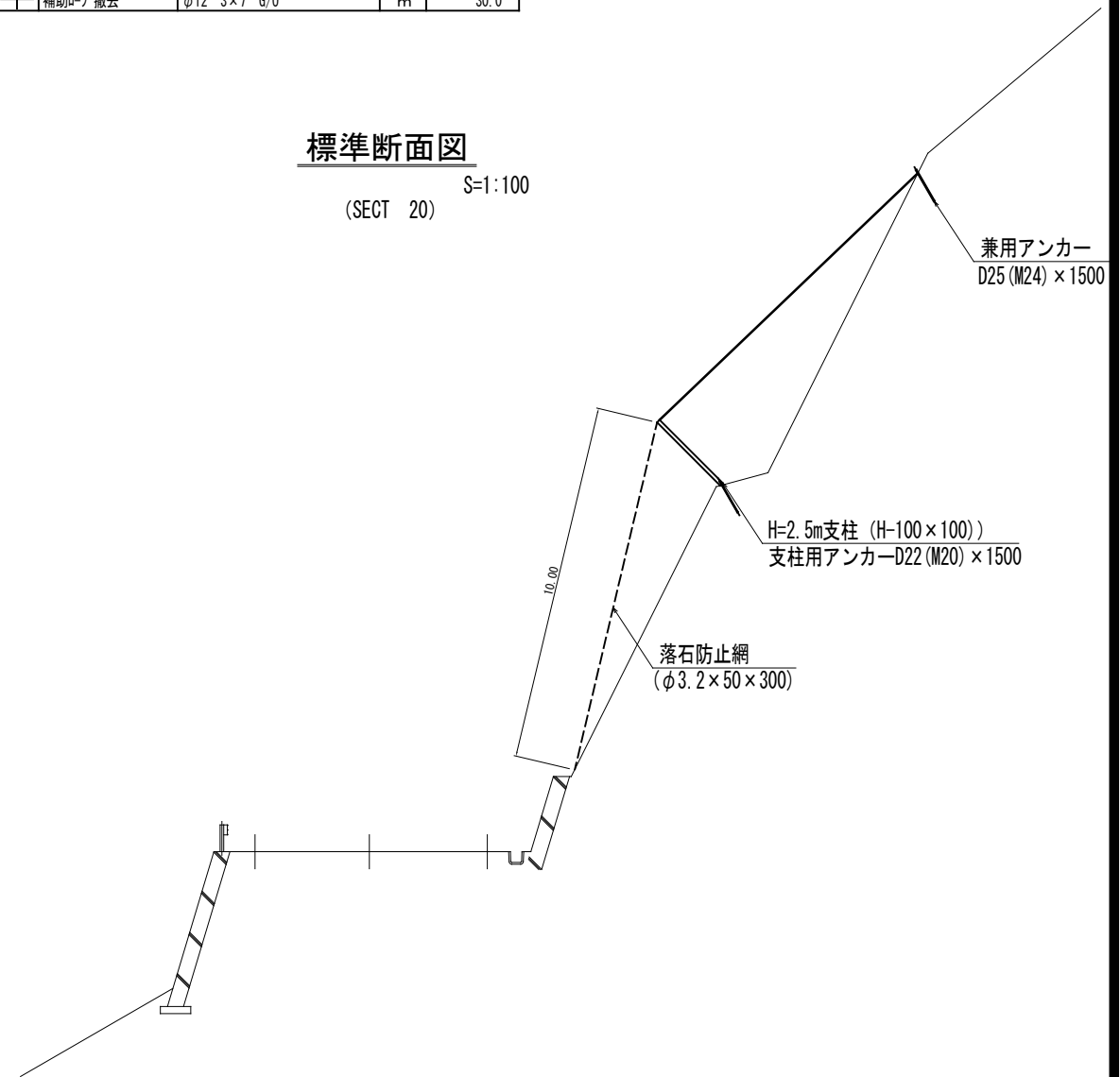
復旧工事展開図



既設落石防止網撤去工				
記号	種 別	仕 様 規 格	単 位	数 量
	落石防止網撤去	φ3.2×50×50	m ²	56.0
⊗	岩用アンカー破損	D25 (M24) × 1000	本	7
⊗	H=2.5m支柱破損	H-100 × 100 × 6 × 8 × 2450	箇所	6
	支柱基礎アンカー破損	D22 (M20) × 1000 × 2本	箇所	2
—	主ロープ 撤去	φ14 3×7 G/0	m	25.0
—	補助ロープ 撤去	φ12 3×7 G/0	m	30.0

標準断面図

(SECT 20) S=1:100



既設落石防止網復旧工				
記号	種 別	仕 様 規 格	単 位	数 量
⊗	落石防止網設置面積	φ3.2×50×300	m ²	56.0
□	岩用アンカー	D25 (M24) × 1000	本	2
⊗	兼用アンカー	D25 (M24) × 1500 + φ60.5×3.2t×500	本	5
■	押えアンカー	D22 (M20) × 1000	本	2
工	H=2.5m支柱復旧	H-100 × 100 × 6 × 8 × 2450	箇所	6
○	支柱基礎兼用アンカー	D22 (M20) × 1500 × 2本	箇所	2
—	主ロープ	φ14 3×7 G/0	m	25.0
—	補助ロープ	φ12 3×7 G/0	m	30.0
〰	巻き付けグリップ	φ14用	本	20
〰	巻き付けグリップ	φ12用	本	10
○	クロスクリップ	(JIS)	個	16
	結合コイル	φ3.2×50×300	個	129

全葉中番				
年度	令和 6 年度			
事業名	林道災害復旧工事(久和喜竜王線)			
施工地	広島県三原市幸崎町久和喜			
	林道久和喜竜王線			
名称	展開図・標準断面図			
図面番号	2 - 2	縮尺	図示	
施工主体	三原市			
課長	課長補佐	係長	設計者	
受託会社				
主任技術者	設計	製図	測量	

参 考 資 料

—林道災害復旧工事（久和喜竜王線）—

久和喜竜王線 数量総括表

工種	種別	細別	規格	数量	単位	備考
準備工						
	伐採工	草刈り機	チェーンソー	281.0	m ²	11.0×25.5m
	積込	伐採材	バックホウ0.28m ³ 級	3.0	m ³	
	運搬	伐採材	4tダンプトラック	3.0	m ³	
	発生材処分	処分費		3.0	m ³	
土 工						
	土砂撤去	礫交り土	人力のり切工	39.6	m ³	
	機械積込	礫交り土	バックホウ0.28m ³ 級	39.6	m ³	
	残土運搬	礫交り土	4tダンプトラック	39.6	m ³	
	建設発生土処分	礫交り土	受入費	39.6	m ³	
既設落石防止網撤去工						
	金網撤去	落石防止網	Φ3.2×50×50	56.0	m ²	
	ワイヤーロープ撤去	Φ14・Φ12mm	3×7 G/0	55.0	m	
	支柱撤去工	H=2.5m	H-100×100×6 ×8×2450	2	箇所	
落石防止網復旧工						
	岩用アンカー D25	L=1.0m	D25 (M24)×1000	2	箇所	
	兼用アンカー D25	L=1.5m	D25 (M24)×1500+Φ 60.5×3.2×500	5	箇所	
	岩用アンカー D22	L=1.0m	D22 (M20)×1000	2	箇所	
	支柱基礎アンカー	D22 L=1.5m	D22 (M20)×1500 ×2本	2	箇所	
	金網設置	落石防止網	Φ3.2×50×50	56.0	m ²	
	ロープ張直	Φ14・Φ12mm	3×7 G/0	55.0	m	
	支柱復旧工	H=2.5m	H-100×100 ×6×8×2450	6	箇所	
	ラフタークレーン	13t級	賃料	1	日	
機械経費						
	空気圧縮機	50PS		2	日	
	削岩機	15kg級		2	日	
	諸費用	燃料・ロッド・ビット ・エアースホース消耗品		1.0	式	(労務費15%)

[illegible]

[illegible]

久和喜竜王線

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-06.10.01(0)		
諸経費体系	B 公共 (R01.06 ~)		
	当世代	前世代	
工種区分 復興補正区分 施工地域・工事場所区分 週休補正区分 緊急工事補正区分 積雪寒冷地補正 前払率（％） 契約保証費区分 工事費端数区分 I C T 補正区分	07 道路工事 00 補正なし 00 補正なし 07 4 週 8 休以上(現場閉所) 00 通常工事 00 補正なし 40 01 0 . 0 4 % 01 千円未満切捨て 00 補正なし		

本工事費

内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
林道開設・改良	1	式				レベル 1
刈払工	1	式				レベル 2
伐採工	1	式				レベル 3
伐採工 【刈払】	1	m2				レベル 4
伐採工 草刈り機・チェーンソー	281	m2				00 単第0 -0001 表
伐採木積込み クローラ型山積0.28m3(平積0.20m3) 排出ガス対策型2次基準	3	m3				00 単第0 -0002 表
伐採木運搬 4t級 路面状況：普通	3	m3				00 単第0 -0004 表
処分費等（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
建設発生木材 (伐採木)受入費										00	
		3		m3							
道路土工										レベル 2	
		1		式							
掘削工										レベル 3	
		1		式							
土砂掘削 【岩塊・玉石混り土】										レベル 4	
		40		m3							
のり切工(人力)										00	
		40		m3						単第0 -0006 表	
小規模土工 積込 (ル - ズ)										00	
		40		m3						単第0 -0007 表	
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離19.0km以下(13.0km超)										00	
		40		m3						単第0 -0009 表	
処分費等(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる											
建設発生土処分 受入費										00	
		40		m3							

本工事費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面工						レベル 2
	1		式			
既設落石防止網撤去工						レベル 3
	1		式			
落石防止網撤去工 【金網・ロープ・支柱】						レベル 4
	56		m2			
落石防止網撤去工 Φ3.2×50×50						00
	56		m2			単第0 -0010 表
落石防止ロープ撤去 Φ14・Φ12-3×7 G/O						00
	55.0		m			単第0 -0011 表
落石防止支柱撤去（H=2.5m） H-100×100×6×8×2450						00
	2		箇所			単第0 -0012 表
落石防止網復旧工						レベル 3
	1		式			
落石防止網設置工 【鋼材規格,設計荷重,削孔数】						レベル 4
	56		m2			
防護柵設置工(落石防止網) アンカー設置 D25mm×長1,000mm [規]金網設置面積_500m2未満						00
	2		箇所			単第0 -0013 表

本工事費

内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
兼用アンカー D25 L=1.5m D25(M24) × 1500 + Φ60.5 × 3.2 t × 500	5		箇所			00 単第0 -0014 表
防護柵設置工(落石防止網) アンカー設置 D22mm × 長1,000mm [規]金網設置面積_500m2未満	2		箇所			00 単第0 -0015 表
支柱基礎兼用アンカー D22 L=1.5m 2本 D22(M20) × 1500 × 2本	2		箇所			00 単第0 -0016 表
落石防止網復旧 Φ3.2 × 50 × 50	56		m2			00 単第0 -0017 表
落石防止ロープ張直し Φ14・Φ12 3 × 7 G/O	55.0		m			00 単第0 -0018 表
落石防止支柱復旧工 H=2.5m H-100 × 100 × 6 × 8 × 2450	6		箇所			00 単第0 -0019 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 12~13t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1		日			00
復旧材料費 【ロープ(Φ14・Φ12)】	1		式			レベル4
落石防止金網資材費 落石防止ロープ(Φ14・Φ12) 金網 Φ3.2 × 50 × 50	1		式			00 単第0 -0020 表

本工事費

内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械経費						レベル 3
機械損料	1		式			レベル 4
【燃料・ロット・ビット・エアース消耗品】	1		式			
空気圧縮機 (50PS)	2		日			00
さく岩機 15kg級	2		日			00
諸費用 燃料・ロット・ビット・エアース消耗品	1		式			00
見積り	1		式			
直接工事費						
共通仮設費率 分額						
共通仮設費計						
(純工事費)						

本工事費

内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費						
(工事原価)						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
* * 工事価格計 * *						
* * 消費税相当額計 * *						
* * 請負工事費計 * *						

施工単価表

頁0 -0008

单第0 -0001 表

100

m2

当日

伐採工
草刈り機・チェーンソー

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

伐採木積込み

クローラ型山積0.28m³(平積0.20m³)

排出ガス対策型2次基準

單第0 -0002 表

10

m3

当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0010

バックホウ（掴み装置付）運転
 クローラ型[標準型]山積0.28m3（平積0.2m3）

排出ガス対策型2次基準

単第0 -0003 表

1

時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.90	L			
運転手(特殊)	0.17	人			
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	1	時間			
バックホウ用アタッチメント 掴み装置(伐木除根工用) 開口幅1700～2000mm爪幅400～750mm	1	時間			
諸雑費	1	式			
小計	1	時間			
A=1 クローラ型[標準型]山積0.28m3（平積0.2m3） C=2 開口幅1,700～2,000mm E=0 労務単価の夜間等割増率 G=0 燃料消費量（L / 日） 標準 = 省略			B=3 排出ガス対策型2次基準 D=1 F=0 運転労務数量（人 / 日） 標準 = 省略		

施工単価表

頁0 -0011

伐採木運搬

4t級 路面狀況：普通

單第0 -0004 表

10

m3

当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0012

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

単第0 -0005 表

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.40	L			
運転手(一般)	0.17	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1	時間			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (普)	1	時間			
諸雑費	1	式			
小計	1	時間			
A=2 C=1 オンロード・ディーゼル・4 t 積級			B=2 D=0 路面状況：普通 労務単価の夜間等割増率		

のり切工（人力）

頁0 -0013

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

小規模土工
積込 (ル-ズ)

單第0 -0007 表

10 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

土砂等運搬

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 24.45%

SPK24040002

DID区間無し 距離19.0km以下(13.0km超)

労務構成比: 63.42%

材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0009 表

1

標準単価:

m3

当り

3,886.2000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=52 距離19.0km以下(13.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0017

落石防止網撤去工
Φ3.2×50×50

單第0 -0010 表

10

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

落石防止口ーブ撤去
Φ14・Φ12-3×7 G/O

单第0 -0011 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

落石防止支柱撤去 (H=2.5m)

H-100 × 100 × 6 × 8 × 2450

单第0 -0012 表

10

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

防護柵設置工(落石防止網) アンカー設置

D25mm × 長1,000mm

[規]金網設置面積 500m²未滿

单第0 -0013 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

兼用アンカー D25 L=1.5m
D25(M24) × 1500 + Φ60.5 × 3.2 t × 500

單第0 -0014 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

防護柵設置工(落石防止網) アンカー設置

D22mm × 長1,000mm

[規]金網設置面積 500m2未滿

單第0 -0015 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

支柱基礎兼用アンカー D22

單第0 -0016 表

1

箇所 当り

$L=1.5m$ 2本 $D22(M20) \times 1500 \times 2$ 本

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

落石防止網復旧
Φ3.2×50×50

单第0 -0017 表

10

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

落石防止ロープ張直し

Φ14 · Φ12

3 × 7 G/O

单第0 -0018 表

10

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

落石防止支柱復旧工 H=2.5m

H-100 × 100 × 6 × 8 × 2450

单第0 -0019 表

10

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

落石防止金網資材費

落石防止ロープ (Φ14・Φ12)

金網 $\Phi 3.2 \times 50 \times 50$

單第0 -0020 表

1

式 当り

[illegible]

位置図

(34.356189 133.066134)



この図は、国土地理院地図を使用したものである。